

令和3年度

財政援助団体等監査報告書

和光市監査委員





監査委員告示第 2 号

地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表します。

令和4年3月30日

和光市監査委員 山田 史明

和光市監査委員 猪原 陽輔



# 令和3年度 財政援助団体等監査報告書

## 第1 監査の概要

### 1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

### 2 監査の期間

令和3年12月3日から令和4年2月28日まで（委員監査日：令和4年2月15日）

### 3 監査の範囲

和光市地域店舗応援プレミアム付商品券事業補助金に係る出納その他の事務の執行について（令和2年度及び令和3年度）

### 4 監査選定基準及び監査対象団体

令和3年度監査計画に基づき、市が補助金を交付している団体の中から次のとおり抽出した。

#### (1) 補助金交付団体

和光市商工会

#### (2) 所管課

市民環境部 産業支援課

### 5 監査の着眼点

#### (1) 補助金交付団体

ア 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管課へ提出した補助金の交付申請書、実績報告等は符合するか。

イ 補助金交付申請書の提出及び補助金の請求、受領は適時に行われているか。

ウ 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。また、補助金が補助対象事業以外に流用されていないか。

エ 出納関係帳票等の整備及び記帳は適正になされているか。また、領収書等の証拠書類の整備及び保存は適切か。

オ 補助金に係る収支の会計経理は適正か。

カ 補助金の執行に関し、内部統制は有効に機能しているか。

キ 精算報告は適正に行われているか。また、精算に伴う返還金の返還時期等は適切か。

ク 財産の処分制限がある場合に、これに違反するものはないか。

ケ 現金や預金通帳、銀行印等の管理体制は適切か。

コ 損失補償及び債務保証に係る借入金の返済状況は適切か。

サ 団体の監査役や監事は、独立性が確保され、有効に機能しているか。

#### (2) 所管課

ア 補助金の決定は、法令等に適合しているか。

イ 補助金交付要綱等は、適正に整備されているか。

ウ 財政的援助が既得権益化しているものはないか。また、随時社会情勢に合わせて見直されているか。

エ 補助金の交付目的及び補助対象事業の内容は明確か。また、公益上の必要性は十分か。

オ 補助金に関する条件の内容は明確か。

カ 補助金の額の算定、交付方法、時期、手続等は適正か。

キ 補助金の条件の履行状況、対象事業の内容、対象経費、使途の適正性及び効果等につ

- いて、実績報告書等により実態が十分に確認されているか。また、補助金交付団体からさらに補助金等を受ける団体等についても、同様の確認がなされているか。
- ク 損失補償及び債務保証を行っている場合、その内容、理由等は妥当か。
- ケ 精算報告書の内容は、必要に応じて領収書等証拠書類との突合を行うなど、十分に確認が行われているか。
- コ 補助金交付団体への指導監督は、適切に行われているか。
- サ 補助金の交付目的、公平性、効果等から判断して、統合、廃止等の見直しをする必要のあるものはないか。
- シ 補助金の必要性を見直す仕組みがあるか。
- ス 補助金等により購入された団体の資産の管理状況を適切に監督しているか。
- セ 補助金等の受領団体の事務が市内部で行われていないか。また、行われている場合、その内容や理由は妥当か。

## 6 監査の方法

監査対象団体及び監査対象所管課より必要な資料を求め、当該事務が適正に執行されているかを主眼とし、関係書類の調査を行うとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

## 第2 監査の結果

### 1 和光市地域店舗応援プレミアム付商品券事業の概要

#### (1) 事業の内容

市に在住、又は在勤する者向けのプレミアム付商品券の発行、販売等事業

#### (2) 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業活動に影響を受けている市内の事業者の経営の安定化を支援し、かつ、地域における消費の喚起及び下支えをする。

#### (3) 実施主体

事業運営及び管理：和光市商工会

商品券発行団体：和光市プレミアム付商品券実行委員会（市と商工会で組織）

#### (4) 実施期間

令和2年12月16日から令和3年9月30日まで

#### (5) 商品券の概要

##### ① プレミアム率

50%（額面500円券の12枚綴り（6,000円分）を1冊当たり4,000円で販売）

##### ② 種類

■ 全取扱店共通券 6枚（3,000円分）

■ 中小取扱店専用券 6枚（3,000円分）

##### ③ 利用可能店舗数

228店

##### ④ 販売の結果

商品券販売枚数	180,000 枚	商品券額面	90,000,000 円
換金枚数	179,111 枚	換金額	89,555,500 円
未換金枚数	889 枚	未換金額	444,500 円

- (6) 換金手数料  
商品券1枚につき5円

2 収支状況

【収支決算報告書】

(令和2年12月16日～令和3年9月30日)

(収入の部)

単位：円

	予算額	決算額	比較増減	備考
1 補助金	42,000,000	39,926,451	△ 2,073,549	
(1) 和光市補助金 (プレミアム分)	30,000,000	29,555,500	△ 444,500	
(2) 和光市補助金 (事務経費分)	12,000,000	10,370,951	△ 1,629,049	
2 販売収入	60,000,000	60,000,000	0	
(1) 商品券販売収入	60,000,000	60,000,000	0	3次販売までで完売
収入合計	102,000,000	99,926,451	△ 2,073,549	

(支出の部)

単位：円

	予算額	決算額	比較増減	備考
1 事務経費	12,000,000	10,370,951	△ 1,629,049	
(1) 印刷費	5,060,000	5,190,295	130,295	商品券、チラシ等
(2) 委託費	3,910,000	3,566,590	△ 343,410	入力抽選、警備、保管等
(3) 事務費	3,030,000	1,614,066	△ 1,415,934	パート、事務経費等
2 商品券換金費	90,000,000	89,555,500	△ 444,500	
(1) 商品券換金費	90,000,000	89,555,500	△ 444,500	
収入合計	102,000,000	99,926,451	△ 2,073,549	

【補助金精算状況】

単位：円

1 補助金交付決定額	42,000,000	プレミアム経費分30,000,000円、事務経費分12,000,000円
2 補助金概算交付額	42,000,000	令和2年度 5,000,000円、令和3年度 37,000,000円
3 補助対象経費実績額	39,926,451	内訳は下の表のとおり
4 補助金交付確定額	39,926,451	
5 補助金精算額 (戻入)	2,073,549	概算交付額 — 交付確定額

【補助対象経費の内訳】

単位：円

1 プレミアム経費分	29,555,500	換金額 (89,555,500円) — 販売額 (60,000,000円)
2 事務経費分	10,370,951	
(1) 事務的経費	9,475,396	印刷製本費、委託費、需用費
(2) 換金手数料	895,555	179,111枚×5円
補助対象経費合計	39,926,451	

### 3 監査委員の意見

市が補助金を交付した「和光市地域店舗応援プレミアム付商品券事業」の事務執行については、現地調査、補助監査及び監査委員による監査を行った結果、協定書、実施要領、事業計画書等に基づき、和光市商工会と産業支援課の実行委員会形式により、概ね適正に執行されているものと認められたが、監査の結果に基づく要望について、以下のとおり述べる。

#### (1) 使用済みの商品券について

使用済みの商品券は、既に焼却処分をしたとのことだが、本事業の補助要綱において、帳簿及び証拠書類は5年間保管しなければならないと規定がある。

長期間の保管について課題があることは承知したが、電子データによる保管や補助要綱の見直し等、今後の改善について検討をお願いしたい。

#### (2) 実行委員会による執行体制について

本事業を推進するに当たり、実行委員会で執行することに様々な利点があることは理解するが、和光市商工会、産業支援課、実行委員会それぞれの役割と責任の所在の明確化に留意されたい。

#### (3) 事業の工夫について

本事業の商品券は、紙による発行のみであるが、他の自治体の例にあるように、キャッシュレス決済の推進に資するような形式を検討されたい。また、登録店舗の中で特に飲食店のPRの仕方も工夫していただきたい。

最後に、プレミアム商品券事業は、事業の効果の検証と、その効果を事後の市内事業者に対する振興策に繋げることが重要であると考えている。

いまだ、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中ではあるが、和光市内の産業の活性化と市民サービスの向上に努めていただきたい。